

はじめて見たきのこ

波部 健

見たいと思ってもなかなかお目にかかれないきのこはたくさんあるが、2015年はそのうちのいくつかを見ることができた。

■アミガサタケ *Morchella esculenta* アミガサタケ科アミガサタケ属



2015年4月撮影

今までアミガサタケといえばトガリアミガサタケくらいしか見たことがなく、無印のアミガサタケははじめて見た。それまで散々探していた（桜の木の根元など）が、昨年とうとう見ることができた。結局は桜のない場所だったが、山奥より公園とか人に近いところに出やすい印象。

■ヤコウタケ *Mycena chlorophos* ラッシタケ科クヌギタケ属



2015年7月撮影

7月に八丈島に出かけ、そこではじめて野生のヤコウタケに巡り会った。八丈島は発光きのこの数が多く、現地では観察ツアーが行われる。

ヤコウタケはヤシの幹などに発生し、昼間は透明感のある白っぽいきのこだが、その発光は強烈で、昼間でも少し影に入っただけで緑に光って見える。

八丈島では他にエナシラッシタケやスズメタケという発光きのこを見た。

八丈島は羽田から飛行機で50分ほどで行くことができるので案外近い。

■ソライロタケ *Entoloma virescens*
イッポンシメジ科イッポンシメジ属



2015年9月撮影

むかし、観察会で一度見たかぎり。関西でもわりとよく見られるようだが、どこでもあるわけではないもよう。

傷ついたり古くなると黄色くなるが、新鮮な個体は目の覚めるような空色。

その色合いはWeb版で確認してください。

■オオモミタケ *Catathelasma imperiale*
オオモミタケ科モミタケ属



2015年9月撮影

9月上旬富士山で目撃。シラビソなどの針葉樹林。前から一度は自分で見つけてみたいと思っていただけに、見つけたときは大興奮。

食用として重宝され、野生きのこを販売する店によく出ているが、現在富士山で発生したきのこの販売は自粛されている。

とても大きく、高さ30cmほどある。

■ニオウシメジ *Macrocybe gigantea*
キシメジ科ニオウシメジ属



2015年9月撮影

毎年関東や九州のどこかで発生したというニュースを見るが、思わぬところでチャンスが到来した。

9月に菌学会のフォーレが埼玉で開催されたが、その直前に埼玉県で発生したというニュースが舞い込んだため、あらかじめ場所を調べておいて、フォーレの帰りに見に行った。現地のニオウシメジは5つの株が合体した巨大な塊だった。地元の区長さんが囲いで保護し、説明板やスケールまで設置しており、さらに新聞記事のコピーまでお持ち帰りくださいと置いてあった。

その大きさにはただただ圧倒される。

2015年は他にもカンムリタケ、シャカシメジ、シロマツタケモドキ、カラストタケ、コウモリタケ、タマゴタケモドキ、ヒョウモンウラベニガサなどをはじめて目撃・撮影することができた。